

進捗状況報告シート

(2010年度・大学)

担当部局は☆印の箇所を記入のこと。

I. 評価項目・要素と担当部局

対象部局	経営戦略研究科・経営戦略専攻
大項目	5 管理運営と施設支援
中項目	
小項目	5.0.1 管理運営
要素	「教育研究上の目的」の達成のために必要な管理運営事項を審議する教授会及び委員会等を設置し、審議事項を尊重し、教育研究環境を整備していく体制を講じているか。 設置形態及び規模に応じた管理運営の事務組織を整備しているか。 「教育研究上の目的」の達成のために、専任教員の教育研究活動に応じた規模と機能を持った管理運営組織を設けているか。
小項目	5.0.2 施設・設備
要素	教育効果の向上を図る教室、演習室及び実習室等の教育研究施設及び設備等の質的かつ量的な整備をしているか。 専任教員ごとに個別の研究室を用意しているか。 図書、学術雑誌及び視聴覚資料その他の教育研究上必要な資料を系統的に収集しているか。 教育研究組織及び教育課程に応じた施設及び設備を整備し有効に活用しているか。 学生の自主的な学習を促進する学習環境を十分に整備し、学生の利用に供しているか。

II. 自己点検・評価《進捗状況報告》

【現状の説明】

《目標・指標》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定した。

目標の進捗状況は「A:適切に実行している」「B:概ね実行している」「C:必ずしも実行していない」「D:実行していない」とし、自ら評価した。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価
1. Have a multi-purpose room in Shared Facilities Building where students can have group works and discussions. 全学共用棟内にグループワークやディスカッションが可能な多目的室を設置する。	→Organizing the multi-purpose room. 多目的室の整備状況	B
2. Have a multi-purpose room at Umeda campus where students can have group works and discussions even after 10pm. 大阪梅田キャンパスに午後10時以降もグループワークやディスカッションが可能な多目的室を設置する。	→Acquire 3 rooms that can be used after 9:30-class is finished and are open until 11pm. 午後9時30分の授業が終了後、午後11時まで使用可能な部屋を3室確保する。	D
3. Improve the information systems, machines and equipment, libraries among others adapted for learning in English. (英語での教育環境を充実させるために、英語対応の情報設備・機器を整備する。)	→conduct an additional survey, or add to the current student evaluation such items as students satisfaction on the use of IBA library, PC, student assistance, other facilities. (学生の施設利用満足度調査の実施、または現在行われている学生調査に施設利用の満足度の項目を加える。)	D

2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価
	→	☆
	→	☆

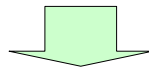
《小項目ごとの現状説明》 ※ 全小項目について記述が必要

☆ 小項目5.0.1	(現状説明) 管理運営事項においては、教授会のほか、専攻会議、各種委員会を設置し適宜課題に取り組んでいる。経験を積んだ多くの事務スタッフを擁しており、管理運営のレベルは高い。
☆ 小項目5.0.2	(現状説明) 教室のほか、自習室や図書室、データ室を設け多くの学生が利用している。またラウンジがあり学生間の談話等で活気にあふれている。西宮の図書館に対するアクセスのルートが確保されており、図書、論文等を自由に閲覧できる。
☆ その他	

◎効果が上がっている事項

【点検・評価 (1)】効果が上がっている事項

小項目5.0.1	
★小項目5.0.2	
その他	



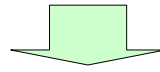
【次年度に向けた方策(1)】伸長させるための方策

小項目5.0.1	
★小項目5.0.2	
その他	

◎改善すべき事項

【点検・評価 (2)】改善すべき事項

小項目5.0.1	
★小項目5.0.2	梅田キャンパスにおいて、小規模ミーティングを行う場所が少ない。授業終了後の午後11時まで使用できる部屋の確保。
その他	



【次年度に向けた方策(2)】改善方策

小項目5.0.1	
★小項目5.0.2	柔軟な対応を梅田キャンパスの担当者に要望する。後者については、可能な方策を引き続き検討する。
その他	

◎自由記述

【点検・評価】&【次年度に向けた方策】

★その他 (自由記述)	
----------------	--

Ⅲ. 学内第三者評価

<評価推進委員会からの評価> (実務作業は評価専門委員会、評価情報分析室、企画室)

- 具体的かつ適切に評価されています。
- 目標2、3の進捗評価がDということですから、2010年には具体的な取組により、少しでも改善がはかられることが期待されます。
- 2009年度の分野別認証評価において課題が示されています。対応はいかがでしょうか。

Ⅳ. 学内第三者評価の評価結果を受けての追加記述

- ★大阪梅田キャンパスは当研究科以外の利用が年々増加しており、十分なスペースが確保できない状況である。梅田事務室やキャンパス委員会と連携をとり運営のソフト面の改善を試みる。